

小学校3・4年生

学習の時間のめやす: 30～40分

(10分×学年)

「赤子には肌を離すな」 「幼児には手を離すな」

「子どもには目を離すな」

学童期になったら手を離しても目を離すな

家庭学習のポイント

自ら学習にむかう習慣を身につけましょう

- 自分でできることは自分で取り組もう。
- 規則正しい生活の再確認と見直しをしよう。
- 意欲を引き出す言葉かけをしよう。
- やる気、根気を育てよう。



家庭学習の内容や方法

- 漢字や計算の練習を丁寧に行いましょう。
- 今日学習したことを教科書やノートで確認して振り返りましょう。(復習)
- 資料集や地図帳、辞典などを使った調べ学習に挑戦してみましょう。
- ICT端末(タブレット)を活用してみましょう。
(持ち帰った場合は)

・チーテレスタディー

<https://sites.google.com/ice.or.jp/chi-tele2/>

・小学校版 ちばっ子チャレンジ100(国、算、理)

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/gakuryoku/challenge.html>

・デジタル学習「ラインズeライブラリ」

<https://katei.kodomo.ne.jp/pc/student/kateitop/login/>



さわやかに
げんきよく
むちゅうになって

学校では…

- 自主自学の基礎となる調べ学習が増えます。
- 社会、理科、総合的な学習の時間が始まります。
 - ・辞典や地図帳を活用します。
 - ・47都道府県を覚えます。
 - ・小数や分数の学習をします。
 - ・ローマ字学習が始まります。
 - ・外国語活動が始まります。



家庭での援助

- やる気を起こさせる励ましの言葉
子どもは何事にも本気。
うまくできなくて本気。
やる気を認めて大人も本気になって。
- 宿題や持ち物を点検する等の手助け
学校の先生と共に歩む姿勢を大切にしましょう。
- 整理整頓
身の回りの整頓はもちろん、持ち物も。
文字の書き方、ノート整理の仕方。
習慣の定着がその後に生きます。

アドバイス

できることを認める。
自分の役目をもたせる。
継続できるものをもたせる。
まだまだ大切なスキンシップ。



分岐点を乗り越える3年生
「9歳の壁」を破る4年生

一つが伸びると他も伸びる中学年